



8月の予定

月主題 月のねがい

2025年7月14日
野毛山幼稚園

今月の聖句

二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである

マタイによる福音書18章20節

主題	年少ばら組	年中くるみ・年長すずらん組
祈りの中で (年少)	いつでもどこにいても、神さまがともにいてくださることを覚え祈りあう	神さまに感謝し、神さまの創られた世界や神さまが私たちに与えて下さっている人を大切にできるように祈りあう
祈りあう (年中長)	いつもとは違う、ゆったりとした環境の中で、異年齢の関わりや好きな遊びを通して思いが広がる 夏の野菜や果物を収穫し、味わったりする。虫などに触れ自然の恵みに感謝しながら過ごす	一日の中に、「動」の時間と「静」の時間を持ち、躍動することも、またゆったりと落ち着いて過ごすことも大切にす。友だちとの遊びもひとりでの遊びも楽しむ 夏から秋への風や光の変化を五感で感じて過ごす

「教会」と訳されているのは、新約聖書の原典ギリシア語で「エクレシア」と言い、建物のことを指しているのではなく、イエスさまによって集められた人たちがいるところを教会「エクレシア」と言います。神さまの幼稚園である野毛山幼稚園も同じです。みんなイエスさまの名によって集められた神さまの家族なのです。子ども、おとな、仲のいい人、あまりかかわったことのない人もいれば、苦手な人もいます。そして、性格もみんな違いますが、その集まりの中で、わたしたちは、お互いに思いやり、赦し合うことができます。人はひとりでは生きていくことはできません。いいことも悪いことも、ひとりで担うのではなく、共に祈り合い、支えあい、分かち合い、共に喜びあうことこそ、人の関わり大切なことではないでしょうか。そのような関わり(交わり)の真ん中には、いつもイエスさまがいてくださいます。ハレルヤ!

予 定

日	曜	予 定	備 考
27	水	緑陰保育	11時30分降園
1	金		
29	金		

こひつじ 先にお知らせの通り

年 少(ばら組)	年 中(くるみ組)	年 長(すずらん組)
規則正しい生活をおくる。 できることは自分でするようにする。 食事の前にお祈りをする。 公共でのマナーを知って守る。 はじめてのこともやってみる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。 	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。 

八月や、六日、九日、十五日
 はちがつや、むいか、このか、じゅうごにち
 広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日

毎年この川柳を紹介しています。
 8月は日本にとって「平和」について考えなくてはならない時です。

今年は戦後80年。戦争を体験した方も少なくなり、戦争の悲惨さを知らない世代が多くなってきています。再び戦争をする国になってしまうのではないかと心配もあります。NHK朝の連続ドラマ「あんぱん」でやなせたかしさんのことが放映されていますが、戦争のシーンでは、人が人でなくなってしまう姿を見てショックを感じました。それが今も世界で起こっていると思うと信じられません。毎日信じられないような事件や事故が起こり、大切な命が奪われています。辛さに耐えられずに命を落とす人もいます。真の平和はいつ実現するのでしょうか。

私たちは本当に小さなものですが、あきらめず、希望をもって、私たちのできることをしていきましょう。おとなも子どもも戦争の悲惨さを考える機会を大切にしたいと思います。

◇「平和」ってなんだろう…

それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。

仲良くする お友だちのことを考える 嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等

◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う ◇平和の絵本を読もう

◇平和に、安心して暮らせないお友だちがいることを知る。

